

絆

171号



衆議院議員

桜田よしたか

日本！この国を強い国に！
～国・地域・家族を守る～



平成26年を「日本を取り戻す」飛躍の年に！

☆午年に思う

1月24日から通常国会が開会しました。私は文部科学副大臣として日々国政に、千葉県政にまた地元柏・我孫子の為に全国各地を飛び回る日々です。我々自由民主党は、平成24年衆院選挙・平成25年参議院選挙の結果、皆様のご支援を頂き、国民の負託に応えられる安定的な体制を築くことができました。

しかし衆参両選挙の結果を見ても、我々自民党への積極的な支持が回復したとは言えないでしょう。私も常に謙虚な政治姿勢を堅持して国民の皆様からのご期待にお答えするべく、不断の努力を積み重ねて参りたいと存じます。

平成21年9月から平成24年12月までの間、自民党が野党に転落していたときに私が感じていたことは、自民党を含めて政治が国民の期待と信頼を裏切ってきたことへの皆様からの怨嗟の声でした。



平成26年1月24日
国会開会日に和装で国会へ



福島県南相馬市の伝統行事、「相馬野馬追」祭りの模様。震災以降、福島県の亀岡偉民議員とともに被災地支援を継続しております。今年は「午」年ということで、南相馬市の「馬」のように力強い震災復興と日本全国の景気回復への駆け足を期待します。

我々自民党は、もう一回国民の皆様から頂いたチャンスに応えるべく、国民の皆様と共に「決められる政治」を進めていかねばならないと常に心に留めております。

世界的に政治・経済が大きく変化するなかで、我が国に直面している喫急の課題は長年苦しめられたデフレ経済からの脱却であります。

そのような中で、大胆な金融緩和・財政出動・成長戦略の3本の矢で世界的に有名になった「アベノミクス」への注目は世界的に広がっております。

デフレから脱して安定的な景気を作り上げるために、政府と党が一体となって「期待から実感へ」を具体化していくことが、アベノミクス2年目の主要課題であると考えております。

☆文部科学副大臣（科学技術・学術・スポーツ担当）として

2020年に56年ぶりの東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定したことは、我が国の頭上に垂れ込めていた暗雲を吹き飛ばすかのような慶事であり、何としてもこの大会を成功に導かねばなりません。

東京大会が決定した平成25年9月に、私が文部科学副大臣を拝命しオリンピック担当となった時には、重い責任に対するプレッシャーと共に「よしやろう！」という意気込みが湧いてきたことを昨日のことにように思い出します。一概にオリンピックといっても、前述した景気回復、財政再建、社会保障制度への信頼回復、全国的な防災体制を目指した国土強靱化、治安テロ対策、そして震災復興・・・。

この6年間で成し遂げねばならない課題は山積しており、特に依然として、20万人余りの避難者が避難生活を余儀なくされている厳しい現実には、私たちは向き合わねばなりません。私は安倍内閣の一員として、国家主導での被災地復興を第一に、被災地の復興と東北の底力を世界に広く発していくことが肝要であると考えております。

☆アベノミクス第3の矢「成長戦略」の実行で経済のダイナミズムを！

一昨年状況に比べると、昨年一年で日本経済は着実に回復をしてきております。1月に総務省から発表された失業率は4.2%（平成24年12月）から3.7%（平成25年12月）へと0.5%改善され、求人倍率も0.83倍（平成24年12月）から1.03倍（平成25年12月）へと大幅に改善、6年3か月ぶりの高水準になっております。

しかし、まだまだ日本全国の地方や中小零細企業の皆様にとり、景気回復の実感を感じていただける状況にはありません。全額社会保障に使うことが決定している消費税の増税についても、今年4月以降、8%に上昇することが決定しておりますが、この消費税増税の駆け込み需要とその反動が予測されております。

4月以降の消費税増税による悪影響を緩和して景気の下振れリスクを回避するとともに、景気をいかに持続的な成長軌道に乗せていくことができるかが、我々自民党に課された使命であります。

具体的には、平成25年度補正予算や平成26年度予算により様々な施策を力強く推進していきたい。さらに、「産業競争力強化法」に基づき投資減税や規制改革などを行い、国家戦略特区を活かしてビジネスをしやすい環境を整備するなど、着実に成長戦略を実施することによりダイナミックな経済活動を創出していきたい。そうして、新たな産業や雇用を創出する為、科学技術イノベーションを産学連携で実現して参ります。

また、地域の活性化の観点からは、設備投資や研究開発の基盤整備を支援するなど、地域を支える中小企業・小規模事業者が最大限に力を発揮できる施策を講じていきます。さらに、働く意欲のある高齢者の能力と経験を活かして生涯現役として働くことができる就業環境の整備、雇用や企業に関する支援を強化していきます。安倍総理が常に主張されているように、女性のライフステージに応じて社会参画できる就業環境を整備すべく、待機児童の解消やマザーズハローワークの充実にも協力したいと思います。

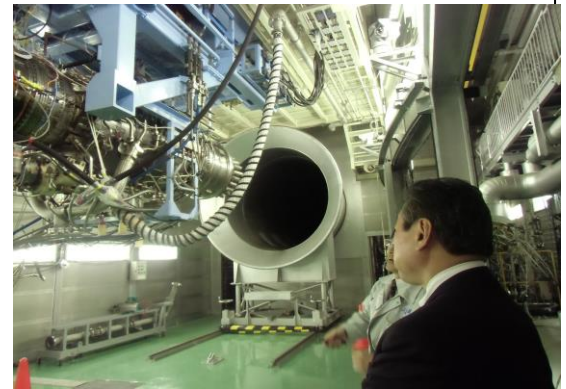


私が会長を務めております、「航空機産業推進議連」でも毎回活発な議論がなされております。裾野が広く、先端技術の粋でもある航空機産業を日本の新たな産業にすべく、今年は様々な政策提言をしていく予定です。

☆教育の再生を！

文部科学副大臣として、とくに私は学術・科学技術・スポーツの担当となっておりますが、私は柏市議会議員のころから教育について**中心的な政策課題**として研究してきました。教育といっても、現在は多様化した保護者の教育・保育のニーズを鑑み、幼稚園・保育園・認定子供園などの施策は自民党の公約でもあり、私も積極的に支援していきたいと思います。さらに、義務教育では日本の**歴史や伝統**に誇りを持てる教育、**領土・領海**を意識させる教育、**道徳教育、防災教育**の充実を何としても図っていきます。

高等教育の分野では、**大学のグローバル化**の推進で海外からの研究者や留学生の受け入れ拡大、他方で日本人の留学生を海外に羽ばたかせるようにしていきます。また、若者の職業観の育成のための**職業教育 就業訓練・キャリア教育**についても強化を図りたいと思います。



調布にある JAXA の研究所を視察。多くの若くて優秀な研究者たちが研究に実験に取り組んでおりました。彼らのような「人財」は国の宝です。

☆被災地復興なくして、日本の繁栄なし。



平成 26 年 2 月 2 日 柏市布施弁天での豆まきの模様。今年一年、皆様に福がきますように！

東日本大震災で被害を受けた東北の復興に最善を尽くすことは言うまでもありません。被災地での企業立地支援や長期避難者への支援を通じて、避難住民の早期帰還を目指します。

原発に際しては、国と事業者が一丸となって汚染水、廃炉、風評被害対策や除染を加速しております。そして、いつ起こるかもしれない首都圏直下型地震や東南海、南海トラフ地震、台風や竜巻など自然災害に対応するため事前防災、減災の観点から国土強靱化、耐震化をすすめ、自衛隊から消防団にいたるまで、オールジャパンで対応するように致します。

☆国道 16 号バイパスの早期建設を！

私が政治を志したところからの悲願であったのは、交通量の限界に達しつつある 16 号バイパスの建設であります。私が国会議員になったころから、地元の利便を図るため、また交通渋滞で救急車やパトカー・消防車も立ち往生してしまうような混雑ぶりの国道 16 号をみるにつけて、私は「この問題を解決することが、政治の責任だ」と考えてきました。

平成 8 年に初めて衆議院議員に当選した当初から、国交省や千葉県、柏市・我孫子市を始め各市町村に掛け合い、16 号バイパスの建設をお訴えしてきました。

とくに、平成 23 年 3 月の東日本大震災以降、地震や台風などの自然災害が千葉県を直撃した際、16 号などは大変な事態になる・・・との思いも日に日に募っております。民主党政権下でまったく計画がストップしてしまった建設計画についても、特段の力をいれて努力していきたいと思っております。是非、皆様の御支援を賜りたく宜しくお願い致します。

平成研究会セミナーのご案内

昨年の参議院選挙の結果、衆参ねじれが解消し「政治の安定」がようやく実現しました。しかし日本経済の再生にむけた持続的な経済成長の実現、震災からの復興、外交・安全保障の確立、教育再生と医療・社会保障の充実など克服すべき課題はまだまだ数多く積み残されたままであります。今年も平成研究会では所属議員が一丸となって叡智を結集して政策遂行に傾注する覚悟であります。是非、皆様にもご出席を賜り今後の方向性を共有できればと存じます。

【日時】平成26年3月5日（水）16時30分開場

【場所】東京プリンスホテル 港区芝公園3-3-1

【会費】20,000円

【内容】第一部 17時開始 2階「プロビデンスホール」

田村憲久厚生労働大臣講演「今後の社会保障について」

第二部 18時 懇親パーティー 2階「鳳凰の間」

【お問い合わせ先】

党員募集のお知らせ

【入党手続き】桜田事務所までご連絡ください

【自民党員になると】2年間継続した党員は、自民党総裁選挙の有権者となります。また桜田義孝事務所より活動報告や行事案内をお送り致します。【党員種類】一般党員 年間4,000円 家族党員 年間2,000円

桜田義孝柏事務所

〒277-0814 柏市正連寺374 TEL:04-7132-0881 FAX:04-7132-6456

桜田義孝国会事務所

〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館1117号室

TEL:03-3508-7381 FAX:03-3508-3501

ホームページ <http://www.sakurada-yoshitaka.com/>

メールアドレス web@sakurada-yoshitaka.com

Twitter (ツイッター) <http://twitter.com/ysakurada>

☆メールアドレス登録で、桜田からの耳より情報を配信いたします！上記アドレスまでご連絡ください！

